報告６　支援連携

はじめに

各学校間での交流、コーディネーターとの関わりを中心に、学校外部と連携についての設問を設けた。その他の記述も多く、複数回答されているものを記載している。

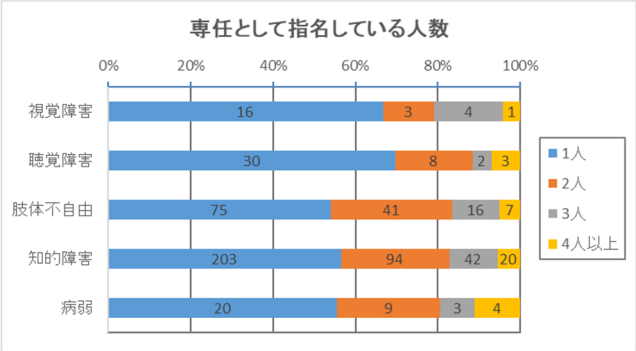
【89】特別支援教育コーディネーターの数について、校長が専任として指名している人数、指名してはいないが専任として業務を遂行している人数、担任等兼務の人数をそれぞれお答えください。

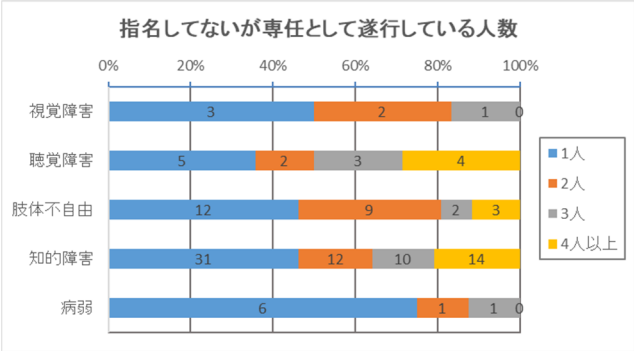
	専任として指名している人数				指名してないが専任として遂行している人数				担任等兼務の人数			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
合計	281	118	54	26	43	21	16	17	239	171	135	216
%	(58.7)	(24.6)	(11.3)	(5.4)	(44.3)	(21.6)	(16.5)	(17.5)	(31.4)	(22.5)	(17.7)	(28.4)

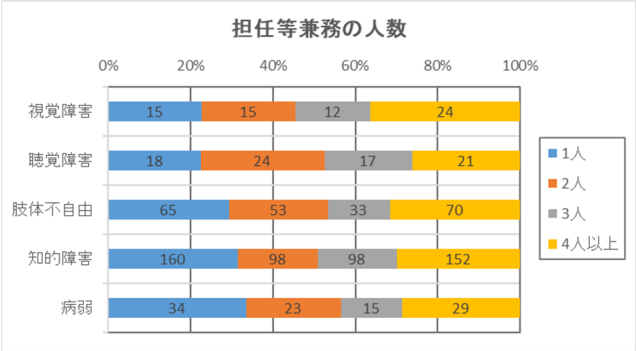
※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	16	3	4	1	3	2	1	0	15	15	12	24
%	(66.7)	(12.5)	(16.7)	(4.2)	(50)	(33.3)	(16.7)	(0)	(22.7)	(22.7)	(18.2)	(36.4)
聴覚障害	30	8	2	3	5	2	3	4	18	24	17	21
%	(69.8)	(18.6)	(4.7)	(7)	(35.7)	(14.3)	(21.4)	(28.6)	(22.5)	(30)	(21.3)	(26.3)
肢体不自由	75	41	16	7	12	9	2	3	65	53	33	70
%	(54)	(29.5)	(11.5)	(5)	(46.2)	(34.6)	(7.7)	(11.5)	(29.4)	(24)	(14.9)	(31.7)
知的障害	203	94	42	20	31	12	10	14	160	98	98	152
%	(56.5)	(26.2)	(11.7)	(5.6)	(46.3)	(17.9)	(14.9)	(20.9)	(31.5)	(19.3)	(19.3)	(29.9)
病弱	20	9	3	4	6	1	1	0	34	23	15	29
%	(55.6)	(25)	(8.3)	(11.1)	(75)	(12.5)	(12.5)	(0)	(33.7)	(22.8)	(14.9)	(28.7)
合計	344	155	67	35	57	26	17	21	292	213	175	296
%	(20.3)	(9.1)	(3.9)	(2.1)	(3.4)	(1.5)	(1.0)	(1.2)	(17.2)	(12.5)	(10.3)	(17.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。







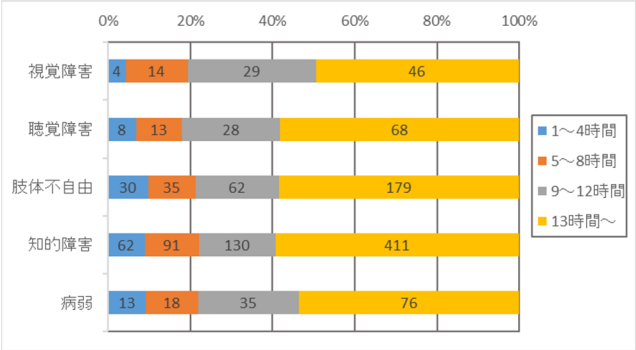
【90】兼務特別支援教育コーディネーターの持ち時数についてお答えください。≪複数選択≫

	1～4時間				5～8時間				9～12時間				13時間～			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
合計	58	14	8	3	83	34	11	10	135	43	18	11	222	137	95	160
%	(69.9)	(16.9)	(9.6)	(3.6)	(60.1)	(24.6)	(8)	(7.2)	(65.2)	(20.8)	(8.7)	(5.3)	(36.2)	(22.3)	(15.5)	(26.1)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	3	0	1	0	7	6	0	1	14	8	2	5	11	14	9	12
%	(75)	(0)	(25)	(0)	(50)	(42.9)	(0)	(7.1)	(48.3)	(27.6)	(6.9)	(17.2)	(23.9)	(30.4)	(19.6)	(26.1)
聴覚障害	5	2	0	1	9	2	0	2	16	7	1	4	19	24	11	14
%	(62.5)	(25)	(0)	(12.5)	(69.2)	(15.4)	(0)	(15.4)	(57.1)	(25)	(3.6)	(14.3)	(27.9)	(35.3)	(16.2)	(20.6)
肢体不自由	17	6	6	1	22	9	1	3	43	12	4	3	64	40	21	54
%	(56.7)	(20)	(20)	(3.3)	(62.9)	(25.7)	(2.9)	(8.6)	(69.4)	(19.4)	(6.5)	(4.8)	(35.8)	(22.3)	(11.7)	(30.2)
知的障害	45	10	5	2	55	19	11	6	84	26	15	5	155	74	64	118
%	(72.6)	(16.1)	(8.1)	(3.2)	(60.4)	(20.9)	(12.1)	(6.6)	(64.6)	(20)	(11.5)	(3.8)	(37.7)	(18)	(15.6)	(28.7)
病弱	9	3	1	0	12	4	1	1	23	8	1	3	29	20	3	24
%	(69.2)	(23.1)	(7.7)	(0)	(66.7)	(22.2)	(5.6)	(5.6)	(65.7)	(22.9)	(2.9)	(8.6)	(38.2)	(26.3)	(3.9)	(31.6)
合計	79	21	13	4	105	40	13	13	180	61	23	20	278	172	108	222
%	(5.8)	(1.6)	(1.0)	(0.3)	(7.8)	(3.0)	(1.0)	(1.0)	(13.3)	(4.5)	(1.7)	(1.5)	(20.6)	(12.7)	(8.0)	(16.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



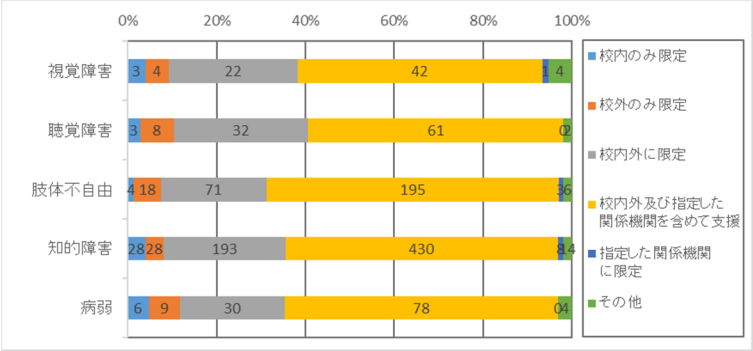
【91】特別支援教育コーディネーターの支援範囲についてお答えください。≪単一選択≫

	校内のみ限定	校外のみ限定	校内外に限定	校内外及び指定した関係機関を含めて支援	指定した関係機関に限定	その他
合計	35	48	281	626	9	23
%	(3.4)	(4.7)	(27.5)	(61.3)	(0.9)	(2.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	3	4	22	42	1	4
%	(3.9)	(5.3)	(28.9)	(55.3)	(1.3)	(5.3)
聴覚障害	3	8	32	61	0	2
%	(2.8)	(7.5)	(30.2)	(57.5)	(0)	(1.9)
肢体不自由	4	18	71	195	3	6
%	(1.3)	(6.1)	(23.9)	(65.7)	(1)	(2)
知的障害	28	28	193	430	8	14
%	(4)	(4)	(27.5)	(61.3)	(1.1)	(2)
病弱	6	9	30	78	0	4
%	(4.7)	(7.1)	(23.6)	(61.4)	(0)	(3.1)
合計	44	67	348	806	12	30
%	(3.4)	(5.1)	(26.6)	(61.7)	(0.9)	(2.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

コーディネーターは本校のみで、分教室の支援は行っていない／依頼があれば応じている／横須賀市三浦市　逗子市　葉山町／学校のある地域はすべて支援範囲としている。／教育相談として 0 歳児から母子支援・早期教育支援実施／県内全域／限定なし／校外は主に専任が担当／校外及び関係機関／校区内／校内、校外で担当を分割。／校内、地域の関係機関／校内外（必要に応じて対応）／校内外、関係機関、市福祉課事業、内容によって支援／校内外及び指定した関係機関を含めて支援／校内外及び支援指定した関係以外にも依頼があれば支援している。／校内研修等の講師派遣／構内外を含め特に限定なし／市内全域／支援範囲の限定はない／数年でなくなる分校なので、コーディネーターはいない。／相談依頼に応じる／同市内における，近隣４つの高校／特に設けていない／範囲を限定していない／本校には，巡回相談員が２名配置。校内外の相談にあたっている。特別支援教育コーディネーターは主に校内の業務を行っている。／本校のみで指名／幼、保、小、中、高／幼保小中高／要請に応じて全て

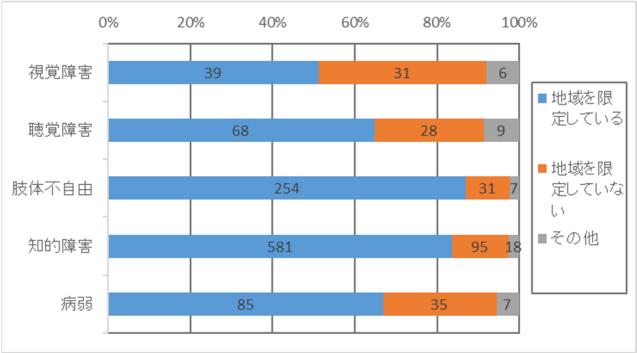
【92】支援のための地域エリアについてお答えください。≪単一選択≫

	地域を限定している	地域を限定していない	その他
合計	771	203	39
%	(76.1)	(20)	(3.8)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	39	31	6
%	(51.3)	(40.8)	(7.9)
聴覚障害	68	28	9
%	(64.8)	(26.7)	(8.6)
肢体不自由	254	31	7
%	(87)	(10.6)	(2.4)
知的障害	581	95	18
%	(83.7)	(13.7)	(2.6)
病弱	85	35	7
%	(66.9)	(27.6)	(5.5)
合計	1027	220	47
%	(79.4)	(17.0)	(3.6)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

おおよその目安はある／みどり市内の学校（幼小中高）／該当なし／学区／学区内／学校としてエリアを限定していないが，主に福祉圏域の相談に対応することが多い。／基本的に県教委で支援地域の指定があるが、相談内容により地域限定がない場合もある。／基本的に地域は限定しているが、道立病弱校が１校のため、病弱教育における支援要請があれば全道域で支援している。／県教委で各特別支援学校の担当地域を割り当てている／県内の地域指定はないが県内のみ／県内の聴覚障害教育校４校で、概ね担当エリアを決めて実施。／県内外の通学可能な圏域／県内全域／県内全域を対象／原則、地域限定だが、施設生が多いため、その場合は保護者等の居住地による。／校内と大学の附属学校／校内のみ／校内のみ限定／江東区・千代田区・中央区／高校との併設校で有り、校外への支援ができていない／在籍児童生徒の居住・就労範囲／市内／市内近郊／市立の園、学校／支援エリア＋県域の病弱関係／授業等校務に支障のない範囲／就学区域として県内一円を対象／石川県全体／千葉県内／千葉県内全域／全県学区のため全県となっている／相談があれば他都市もあり／地域ではなく、対象校が指定されている。／地域を限定してはいないが、おおよそ地域への支援である／聴覚障害支援を行っている他の総合支援学校（1 校）の周辺地域以外のすべての地域を本校が担当／通学区域にある学校／通学圏内／都内のみ全域／八重山圏域／附属学校園のみ／分校と分担している／旅費の範囲／

多くの学校が基本的にはエリア指定があるものの、要請によってケースバイケースで対応する、という回答であった。

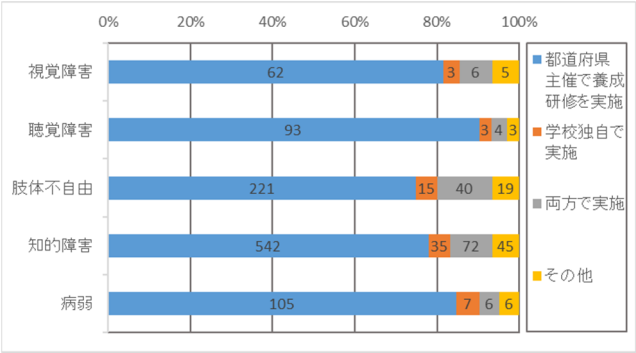
【93】特別支援教育コーディネーター養成のための研修会を実施していますか。≪単一選択≫

	都道府県主催で養成研修を実施	学校独自で実施	両方で実施	その他
合計	802	43	94	67
%	(79.7)	(4.3)	(9.3)	(6.7)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	62	3	6	5
%	(81.6)	(3.9)	(7.9)	(6.6)
聴覚障害	93	3	4	3
%	(90.3)	(2.9)	(3.9)	(2.9)
肢体不自由	221	15	40	19
%	(74.9)	(5.1)	(13.6)	(6.4)
知的障害	542	35	72	45
%	(78.1)	(5)	(10.4)	(6.5)
病弱	105	7	6	6
%	(84.7)	(5.6)	(4.8)	(4.8)
合計	1023	63	128	78
%	(79.2)	(4.9)	(9.9)	(6.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

これまでは県が実施していた／していない／すでにコーディネーターに指名されている方の研修会には本校のコーディネーターが参加している／なし／教育委員会／圏域で実施／研修会は実施していない／県が主催する養成研修は終了し、現在は担当者連絡協議会を開催。／県及び一部の市教委で実施。／行っていない／市で実施／市で実施（養成は県）／市教委／市教委で実施／市教委主催の研修／市教委主催の研修会／市教育センターでの講座／市教育委員会主催研修／市主催で実施／市主催で養成研修実施／市主催の研修会／実施していない／小中学校校長会で実施／新潟市主催／政令市として実施／相談員の養成研修を実施／地域でも養成研修を実施している／地域で実施／中核市研修として実施／都道府県、コーディネーター個人／特にしていない／特になし／特に実施していない／特に実施はしていない／任命後研修会は実施されている。／福岡市（政令市）主催の研修講座／養成という限定した研修はない／養成のための研修会はない／例年あるが、今年度は実施されず／連絡会議等に出席

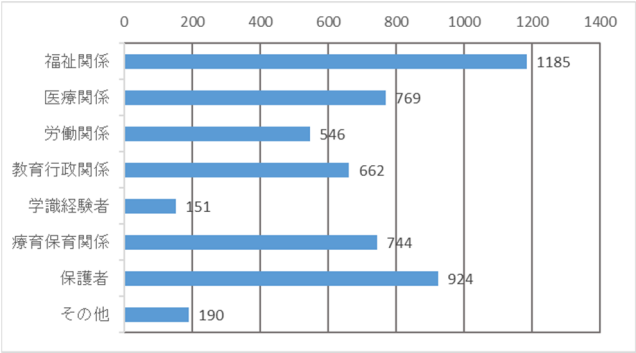
【94】学校主催（校内）の支援（ｹｰｽ）会議の構成メンバーについて、お答えください。≪複数選択可≫

	福祉関係	医療関係	労働関係	教育行政関係	学識経験者	療育保育関係	保護者	その他
合計	901	573	397	492	112	549	697	156
%	(88.2)	(56.1)	(38.8)	(48.1)	(11)	(53.7)	(68.2)	(15.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	66	40	31	31	11	42	53	12
%	(84.6)	(51.3)	(39.7)	(39.7)	(14.1)	(53.8)	(67.9)	(15.4)
聴覚障害	71	51	29	39	18	52	50	20
%	(73.2)	(52.6)	(29.9)	(40.2)	(18.6)	(53.6)	(51.5)	(20.6)
肢体不自由	272	196	114	156	32	192	210	37
%	(91.9)	(66.2)	(38.5)	(52.7)	(10.8)	(64.9)	(70.9)	(12.5)
知的障害	661	376	330	368	79	394	521	105
%	(92.4)	(52.6)	(46.2)	(51.5)	(11)	(55.1)	(72.9)	(14.7)
病弱	115	106	42	68	11	64	90	16
%	(87.8)	(80.9)	(32.1)	(51.9)	(8.4)	(48.9)	(68.7)	(12.2)
合計	1185	769	546	662	151	744	924	190
%	(22.9)	(14.9)	(10.6)	(12.8)	(2.9)	(14.4)	(17.9)	(3.7)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

ＳＣ、ＳＳＷ／ケースによっては本人／ケースによって異なる。／ケースによって必要な方に入っていただく／ケースによりメンバーは異なる。／ケースによりメンバーは変わる／ケースにより柔軟に参加者を変更している。／ケースに応じ人選している。／ケースに合わせて対応／サポートセンター／スクールカウンセラー等／スクールソーシャルワーカー／デイサービス事業者／案件により児童相談所員等が加わる。／医療主催で頻繁に実施、参加／外部参加者なし／外部専門家／外部専門家（臨床心理士）／学園との個別のケース会議／学級担任、学年主任、生徒指導部長、養護教諭、教頭／学校関係／学校主催では支援会議は行っていない／学校職員／関係する教職員／関係施設職員／関係職員／企業／教職員のみ／教頭、担任教諭、養護教諭／警察、その時々でメンバーが変わる／警察少年課／現在、校内では外部の関係者とのケース会議は行っていない。／個々のケースに応じて、必要な構成メンバーを検討し開催している／個々のケースに応じて要請／個別ケースのニーズに応じて出席依頼／固定せず状況に応じて構成／校内のケースのみ実施したため、外部からは不参加／校内の教員のみ／校内関係者／校内教職員のみで構成／校内職員のみ／構成メンバーはケースによる。／行政(福祉課)／高等部生徒本人／子ども家庭支援センター／子ども家庭相談センター／市町の「生活保護」所管課／市町村の主催とし、構成は個別のケースによる／市役所　福祉課担当／支援の内容によりメンバーは異なる。／支援会議の内容に応じて関係機関を要請する／支援会議を行っていない／支援会議内容により構成員を選択する／支援機関（就労・生

活支援センター）／施設職員／事業所、進路先／事例に合わせて人選する／児童生徒が入所している児童福祉施設の職員／児童相談所、生活保護課などケースに応じて決めている／児童相談所、弁護士など。ケースによって構成する。／児童相談所等／時には本人／自校の教職員／実施していない／実施する場合は、主訴により招集メンバーを調整する。／主に管理職，教務，各部主事，生徒指導部長，教育支援部長，各部 CO／主催の支援会議は実施していない／手をつなぐ育成会／小中学校等職員など／少年相談保護センター／障害者支援センター、児童相談所／障害者就業・生活支援センター／上記回答だが、それぞれを対象にした研修会、相談会を設けた。／状況と判断した人／状況に応じて決めている。／心理判定員・臨床発達心理士／生徒在住地域の福祉関係の方／生徒指導を中心に教員中心で行っている。／生徒本人／相談支援事業所　保健師　事業所　行政福祉担当者／相談支援事業所関係,外部専門員／相談支援専門員／他校専門職員／担任、学部主事、進路指導主事、寄宿舎生については担当指導員／担任、学部長、関係職員／担任、養護教諭、管理職／中核支援センター／定めていない／定期的な会議は設定していない／転籍に関わる小中学校関係／特に決めていない／内容によって異なる／内容に応じて関係者がメンバーになる／必要に応じて、外部関係者に出席を依頼することがある。／必要に応じてメンバーを決める／必要に応じて関係機関に依頼／必要に応じて講師招聘／必要に応じて放課後等・送迎サービス事業者／必要のある場合に実施。内容に応じて人選する。／福祉サービス事業所／福祉行政、児童相談所、SSW／福祉行政関係／福祉事業所の職員／併設の学園職員／弁護士／保護司／放課後デイサービス関係者／本校主催のケース会議はない／本人／利用サービス業者／臨床心理士／臨床心理士(ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ)／隣接するこども医療福祉センター

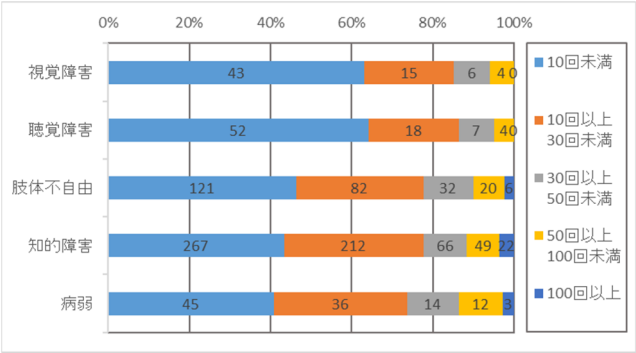
【95】上記の支援（ケース）会議を平成 27 年度は何回開催しましたか。

	10回未満	10回以上30回未満	30回以上50回未満	50回以上100回未満	100回以上
合計	426	270	86	64	26
%	(48.9)	(31)	(9.9)	(7.3)	(3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	43	15	6	4	0
%	(63.2)	(22.1)	(8.8)	(5.9)	(0)
聴覚障害	52	18	7	4	0
%	(64.2)	(22.2)	(8.6)	(4.9)	(0)
肢体不自由	121	82	32	20	6
%	(46.4)	(31.4)	(12.3)	(7.7)	(2.3)
知的障害	267	212	66	49	22
%	(43.3)	(34.4)	(10.7)	(8)	(3.6)
病弱	45	36	14	12	3
%	(40.9)	(32.7)	(12.7)	(10.9)	(2.7)
合計	528	363	125	89	31
%	(46.5)	(32.0)	(11.0)	(7.8)	(2.7)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



ここでも多かった回答は、ケースに応じてメンバーを集める、というものだった。

また、支援（ケース）会議の開催の割合は単独校の場合は病弱が最も開催頻度が高く、視覚障害、聴覚障害は低かった。

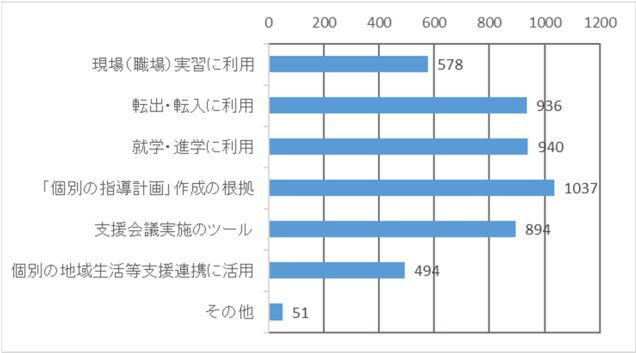
【96】「個別の教育支援計画」の活用について、どのように活用しているか、3 つお答えください。

	現場（職場）実習に利用	転出・転入に利用	就学・進学に利用	「個別の指導計画」作成の根拠	支援会議実施のツール	個別の地域生活等支援連携に活用	その他
合計	454	712	724	805	693	378	38
%	(42.7)	(67)	(68.1)	(75.7)	(65.2)	(35.6)	(3.6)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	33	52	61	53	53	22	2
%	(41.8)	(65.8)	(77.2)	(67.1)	(67.1)	(27.8)	(2.5)
聴覚障害	35	86	90	83	68	33	3
%	(32.1)	(78.9)	(82.6)	(76.1)	(62.4)	(30.3)	(2.8)
肢体不自由	135	226	212	231	202	115	13
%	(44.4)	(74.3)	(69.7)	(76)	(66.4)	(37.8)	(4.3)
知的障害	327	467	491	570	482	286	29
%	(44.4)	(63.5)	(66.7)	(77.4)	(65.5)	(38.9)	(3.9)
病弱	48	105	86	100	89	38	4
%	(35.8)	(78.4)	(64.2)	(74.6)	(66.4)	(28.4)	(3)
合計	578	936	940	1037	894	494	51
%	(11.7)	(19.0)	(19.1)	(21.0)	(18.1)	(10.0)	(1.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

【視覚障害】
個別の支援計画策定会議／放課後等デイサービス事業所との連携に活用

【聴覚障害】
保護者，本人との共通理解のツールとして活用／個別の支援計画策定会議／保護者との懇談

【肢体不自由】
Ｂ型アセスメントの活用／引き継ぎ資料／関係機関とのケース会議に活用／個別の支援計画策定会議／交流及び共同学習／合理的配慮の確認／支援籍学習・交流及び共同学習／就労先での利用／病院　福祉機関との連携／福祉サービスの利用に利用／保護者懇談／保護者連携のツール／放課後等児童デイサービス

【知的障害】
サポートブック／引き継ぎ資料／外部専門員への配布資料／外部専門家による指導の際／関係機関とのケース会議に活用／居住地校交流（簡易版）／個人目標の設定／個別の移行支援計画／個別の指導計画は

自校で作成しているが、個別の支援計画は中学校から送付されてこない。／個別の支援計画策定会議／校内の引き継ぎ／在籍中の保護者との情報共有／支援会議資料作成の根拠／就労／就労に移行する際の基礎資料／就労先、保護者面談／就労先での利用／就労先への引継、障害者年金申請の資料として家庭保存用資料／卒後・移行支援／提示懇談で保護者との共通理解を図るために活用／日常の支援のために、各区の福祉課や事業所等へ提出／病院（通院の際）／福祉サービスの利用に利用／保護者との支援内容の確認／保護者との相談／保護者懇談／保護者連携のツール／放課後支援との連携／優先順位が付け難いため、５つ選択

【病弱】
支援籍学習・交流及び共同学習／就労先での利用／放課後等児童デイサービス／Ｂ型アセスメントの活用

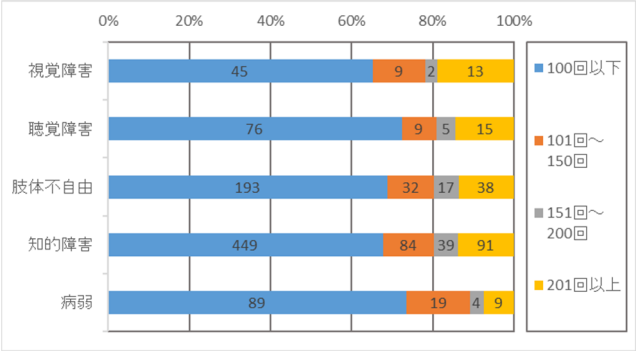
【97】平成 28 年度の特別支援教育コーディネーターの派遣回数をお答えください。≪単一選択≫

	100回以下	101回～150回	151回～200回	201回以上
合計	689	111	50	115
%	(71.4)	(11.5)	(5.2)	(11.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	45	9	2	13
%	(65.2)	(13)	(2.9)	(18.8)
聴覚障害	76	9	5	15
%	(72.4)	(8.6)	(4.8)	(14.3)
肢体不自由	193	32	17	38
%	(68.9)	(11.4)	(6.1)	(13.6)
知的障害	449	84	39	91
%	(67.7)	(12.7)	(5.9)	(13.7)
病弱	89	19	4	9
%	(73.6)	(15.7)	(3.3)	(7.4)
合計	852	153	67	166
%	(68.8)	(12.4)	(5.4)	(13.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



コーディネーターの派遣は種別が混在している、病弱は比較的低い割合で派遣を行っている。

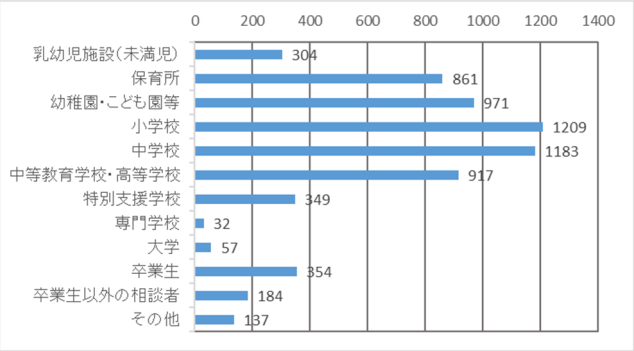
【98】あなたの学校の支援先はどこですか。≪複数選択可≫

	乳幼児施設（未満児）	保育所	幼稚園・こども園等	小学校	中学校	中等教育学校・高等学校	特別支援学校	専門学校	大学	卒業生	卒業生以外の相談者	その他
合計	228	654	737	931	913	687	282	20	42	287	147	115
%	(22.2)	(63.8)	(71.9)	(90.8)	(89.1)	(67)	(27.5)	(2)	(4.1)	(28)	(14.3)	(11.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	38	61	64	71	72	59	59	4	15	34	33	8
%	(51.4)	(82.4)	(86.5)	(95.9)	(97.3)	(79.7)	(79.7)	(5.4)	(20.3)	(45.9)	(44.6)	(10.8)
聴覚障害	52	82	89	100	92	68	64	7	10	37	22	8
%	(49.1)	(77.4)	(84)	(94.3)	(86.8)	(64.2)	(60.4)	(6.6)	(9.4)	(34.9)	(20.8)	(7.5)
肢体不自由	73	197	227	288	271	207	74	7	10	58	34	29
%	(24.6)	(66.3)	(76.4)	(97)	(91.2)	(69.7)	(24.9)	(2.4)	(3.4)	(19.5)	(11.4)	(9.8)
知的障害	115	445	506	632	639	500	113	10	16	191	80	81
%	(16.2)	(62.9)	(71.5)	(89.3)	(90.3)	(70.6)	(16)	(1.4)	(2.3)	(27)	(11.3)	(11.4)
病弱	26	76	85	118	109	83	39	4	6	34	15	11
%	(20.6)	(60.3)	(67.5)	(93.7)	(86.5)	(65.9)	(31)	(3.2)	(4.8)	(27)	(11.9)	(8.7)
合計	304	861	971	1209	1183	917	349	32	57	354	184	137
%	(4.6)	(13.1)	(14.8)	(18.4)	(18.0)	(14.0)	(5.3)	(0.5)	(0.9)	(5.4)	(2.8)	(2.1)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



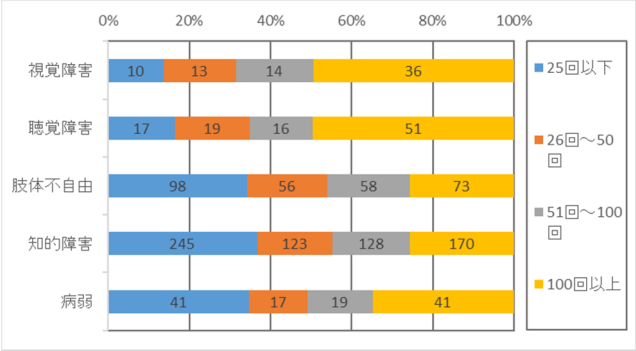
【99】平成 28 年度の特別支援教育コーディネーターの来校相談及び電話相談の回数をお答えください。
≪単一選択≫

	25回以下	26回～50回	51回～100回	100回以上
合計	328	184	179	282
%	(33.7)	(18.9)	(18.4)	(29)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	10	13	14	36
%	(13.7)	(17.8)	(19.2)	(49.3)
聴覚障害	17	19	16	51
%	(16.5)	(18.4)	(15.5)	(49.5)
肢体不自由	98	56	58	73
%	(34.4)	(19.6)	(20.4)	(25.6)
知的障害	245	123	128	170
%	(36.8)	(18.5)	(19.2)	(25.5)
病弱	41	17	19	41
%	(34.7)	(14.4)	(16.1)	(34.7)
合計	411	228	235	371
%	(33.0)	(18.3)	(18.9)	(29.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



視覚、聴覚障害と相談回数が多いが、肢体不自由、知的障害は比較的少ないことが分かる。

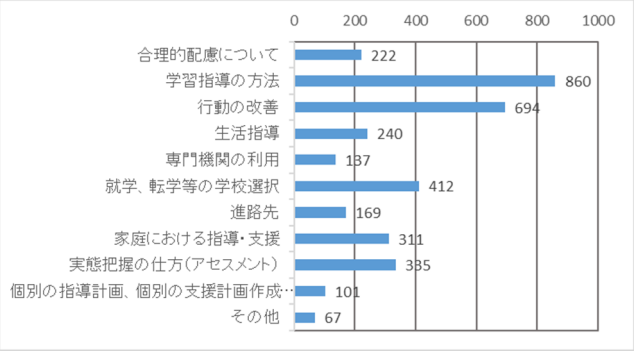
【100】平成 28 年度に特別支援教育コーディネーターが受けた相談内容の内、多かった内容を二つお答えください。≪複数回答≫

	合理的配慮について	学習指導の方法	行動の改善	生活指導	専門機関の利用	就学、転学等の学校選択	進路先	家庭における指導・支援	実態把握の仕方（アセスメント）	個別の指導計画、個別の支援計画作成の仕方	その他
合計	175	657	522	186	101	322	137	248	264	75	59
%	(17.4)	(65.2)	(51.8)	(18.5)	(10)	(32)	(13.6)	(24.6)	(26.2)	(7.4)	(5.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	20	61	21	15	4	23	11	20	28	6	5
%	(27)	(82.4)	(28.4)	(20.3)	(5.4)	(31.1)	(14.9)	(27)	(37.8)	(8.1)	(6.8)
聴覚障害	38	76	26	18	9	31	15	37	26	6	11
%	(35.8)	(71.7)	(24.5)	(17)	(8.5)	(29.2)	(14.2)	(34.9)	(24.5)	(5.7)	(10.4)
肢体不自由	48	207	170	53	33	92	26	64	72	25	10
%	(16.3)	(70.4)	(57.8)	(18)	(11.2)	(31.3)	(8.8)	(21.8)	(24.5)	(8.5)	(3.4)
知的障害	88	439	415	131	73	208	99	161	180	52	34
%	(12.7)	(63.5)	(60.1)	(19)	(10.6)	(30.1)	(14.3)	(23.3)	(26)	(7.5)	(4.9)
病弱	28	77	62	23	18	58	18	29	29	12	7
%	(22.4)	(61.6)	(49.6)	(18.4)	(14.4)	(46.4)	(14.4)	(23.2)	(23.2)	(9.6)	(5.6)
合計	222	860	694	240	137	412	169	311	335	101	67
%	(6.3)	(24.2)	(19.6)	(6.8)	(3.9)	(11.6)	(4.8)	(8.8)	(9.4)	(2.8)	(1.9)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



どの障害種別でも「学習の方法」が最も多く選ばれている。

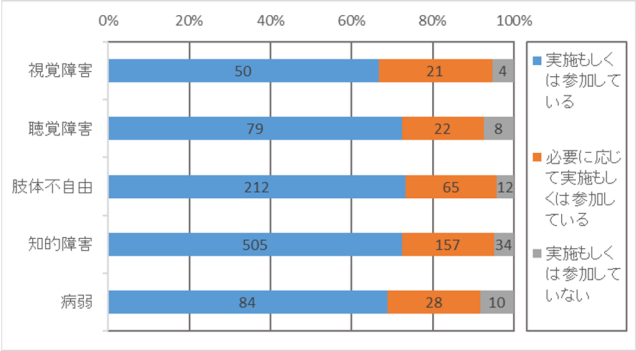
肢体不自由、知的障害、病弱は「行動の改善」が次ぐ結果となっている。

【101】関係機関と地域の特別支援教育を推進するための連絡会議を実施もしくは参加していますか≪単一選択≫

	実施もしくは参加している	必要に応じて実施もしくは参加している	実施もしくは参加していない
合計	712	239	55
%	(70.8)	(23.8)	(5.5)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	50	21	4
%	(66.7)	(28)	(5.3)
聴覚障害	79	22	8
%	(72.5)	(20.2)	(7.3)
肢体不自由	212	65	12
%	(73.4)	(22.5)	(4.2)
知的障害	505	157	34
%	(72.6)	(22.6)	(4.9)
病弱	84	28	10
%	(68.9)	(23)	(8.2)
合計	930	293	68
%	(72.0)	(22.7)	(5.3)



※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。

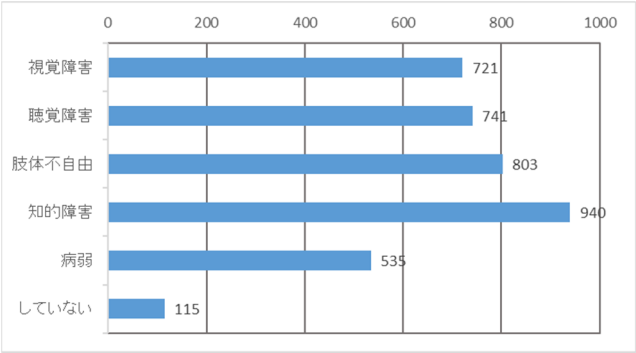
【102】特別支援学校間で連携している学校の連携種別（連携している学校種）についてお答えください。≪複数選択可≫

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	知的障害	病弱	していない
合計	515	537	606	733	379	98
%	(49.8)	(51.9)	(58.6)	(70.8)	(36.6)	(9.5)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	49	55	59	65	39	4
%	(62.8)	(70.5)	(75.6)	(83.3)	(50)	(5.1)
聴覚障害	74	65	65	82	48	8
%	(68.5)	(60.2)	(60.2)	(75.9)	(44.4)	(7.4)
肢体不自由	190	186	200	210	134	15
%	(64.2)	(62.8)	(67.6)	(70.9)	(45.3)	(5.1)
知的障害	332	363	400	493	238	79
%	(46.4)	(50.7)	(55.9)	(68.9)	(33.2)	(11)
病弱	76	72	79	90	76	9
%	(58.9)	(55.8)	(61.2)	(69.8)	(58.9)	(7)
合計	721	741	803	940	535	115
%	(18.7)	(19.2)	(20.8)	(24.4)	(13.9)	(3.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



連携先の種別での片寄りは見られないが、全体の１割程度の学校が「連携していない」と回答した。

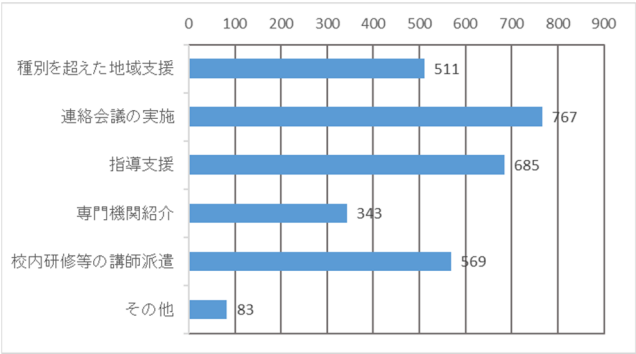
【103】特別支援学校間での連携により行っている支援の内容についてお答えください。
≪複数選択可≫

	種別を超えた地域支援	連絡会議の実施	指導支援	専門機関紹介	校内研修等の講師派遣	その他
合計	381	595	526	265	425	67
%	(40)	(62.4)	(55.2)	(27.8)	(44.6)	(7)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	34	46	53	25	48	5
%	(46.6)	(63)	(72.6)	(34.2)	(65.8)	(6.8)
聴覚障害	44	66	62	36	53	4
%	(44.4)	(66.7)	(62.6)	(36.4)	(53.5)	(4)
肢体不自由	136	171	170	79	142	18
%	(47.9)	(60.2)	(59.9)	(27.8)	(50)	(6.3)
知的障害	242	410	343	175	271	44
%	(37.2)	(63.1)	(52.8)	(26.9)	(41.7)	(6.8)
病弱	55	74	57	28	55	12
%	(45.1)	(60.7)	(46.7)	(23)	(45.1)	(9.8)
合計	511	767	685	343	569	83
%	(17.3)	(25.9)	(23.2)	(11.6)	(19.2)	(2.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

・合同学習・保護者をつなぐフリートークの会／ケースに応じて実施／していない／育ちと学びの巡回相談／各学校の相談支援状況の情報交換等／各校企画の研修会参加／各種制度等の共通認識／学校医療専門家（PT・ST)の学校枠を超えた連携／学校間の連携はしていない／共催で研修会を実施／共通の地域の児童生徒に関わる情報交換／協同で研修会を実施／教育支援／教育相談／教員相互の研修／教材・教具の借用・貸し出し／検査器具の借用／検査等／研究会の実施／研修会（講演会）の実施／研修会における課題抽出と情報共有／研修会の開催／研修会の共催／研修会の実施／研修会実施の情報提供／県外の施設併設学校／現場実習先や進路先の調整・情報交換／個別の教育相談／交流会の実施／交流及び共同学習／合同研修会／合同研修会の実施／合同相談会、協同研究／支援学級担任研修会の開催／肢体不自由と病弱の専門部を設置し研修会等実施している／児童生徒の就学先について／実施していない／実習先企業の情報提供／実態把握の仕方（アセスメント）／授業研究会／就学に伴う検査の依頼、学校見学／就学相談や情報提供／就学等の学校選択（専攻科）／就労に関する啓発事業／就労支援／巡回相談／小学校入学前体験時の行動観察／障害の状態の確認／障害児地域行事へ共同で協力／上記のような形での支援は実施していない／情報共有／情報交換／進路先の情報提供等／進路先決定、職場開拓／専門家活用依頼・校内への訪問支援／専門性を持った職員の相互支援（STPTOT）／相談会の共催／担当

者会議への参加／地域における視覚障害を有する子どもに対する療育相談／地域の情報交換／地域の美術館を会場にした合同展覧会／特にしていない／特別支援学級の研究授業の助言についての研究／入学希望のある中学生等の情報交換／保護者会　研修会・講演会　等／補聴に関する相談／補聴相談

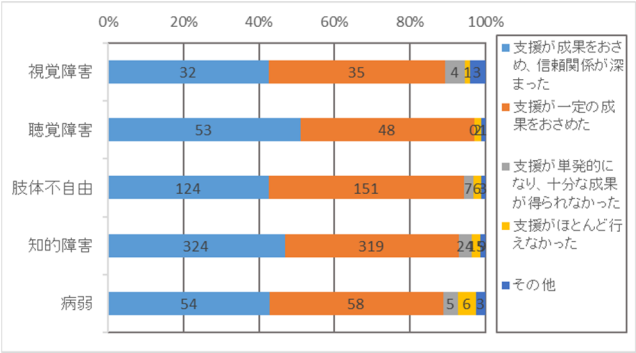
【104】特別支援教育コーディネーターの活用による地域との支援連携の成果についてお答えください。≪単一選択≫

	支援が成果をおさめ、信頼関係が深まった	支援が一定の成果をおさめた	支援が単発的になり、十分な成果が得られなかった	支援がほとんど行えなかった	その他
合計	453	472	36	30	14
%	(45.1)	(47)	(3.6)	(3)	(1.4)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	32	35	4	1	3
%	(42.7)	(46.7)	(5.3)	(1.3)	(4)
聴覚障害	53	48	0	2	1
%	(51)	(46.2)	(0)	(1.9)	(1)
肢体不自由	124	151	7	6	3
%	(42.6)	(51.9)	(2.4)	(2.1)	(1)
知的障害	324	319	24	15	9
%	(46.9)	(46.2)	(3.5)	(2.2)	(1.3)
病弱	54	58	5	6	3
%	(42.9)	(46)	(4)	(4.8)	(2.4)
合計	587	611	40	30	19
%	(45.6)	(47.5)	(3.1)	(2.3)	(1.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

①学校の専門性への信頼の高まり、②特別支援教育への理解啓発／j 情報の共有／コーディネーターは主に校内支援を担当している／活用する機会がなかった／関係機関へ繋ぐことができた／具体的には、困ったときの相談先として位置づけられた。／今年度の支援は無し／市町村教育委員会との相談関係が深まることで支援内容の質が向上した。／支援が一定の成果を収めた／支援が成果をおさめ、信頼関係が深まった／支援が成果をおさめ、信頼関係が深まった／支援が成果を収め信頼関係が深まった／巡回等における教育相談や来校相談（地域サポートデー）など、本校の特別支援に関わる専門的支援を野田

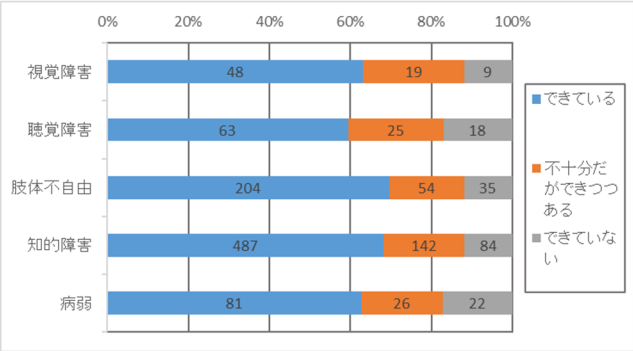
市と連携して行っている。／新設校のため支援としては不十分／制度がないため／地域との支援連携がなかった／地域との支援連携を行っていない。／地域の小中学校の弱視学級や難聴学級の児童生徒への支援について，視覚支援学校や聴覚支援学校のコーディネーターにつないだところ成果が見られた。／入学希望者等の実態把握が進むこと／病院のｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰが対応／分校は地域支援は行っていない／併設施設内に児童家庭支援センターがありこちらが主力／本校のみで実施

【105】地域内の特別支援教育センター等との連携ができていますか。≪単一選択≫

	できている	不十分だができつつある	できていない
合計	667	222	142
%	(64.7)	(21.5)	(13.8)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	48	19	9
%	(63.2)	(25)	(11.8)
聴覚障害	63	25	18
%	(59.4)	(23.6)	(17)
肢体不自由	204	54	35
%	(69.6)	(18.4)	(11.9)
知的障害	487	142	84
%	(68.3)	(19.9)	(11.8)
病弱	81	26	22
%	(62.8)	(20.2)	(17.1)
合計	883	266	168
%	(67.0)	(20.2)	(12.8)



※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。

どの障害種別も「できている」と回答した校数が過半数を下回っているものはない。

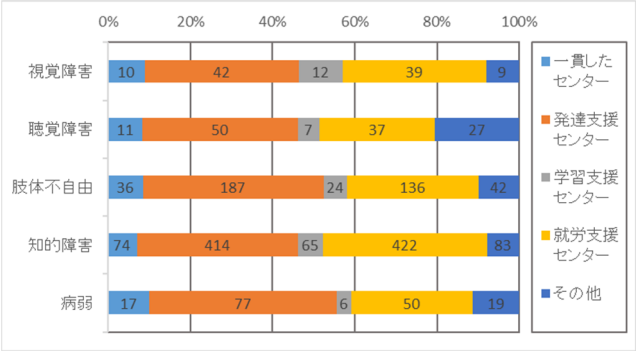
【106】連携しているまたは連携ができつつある特別支援教育センター等をお答えください。
≪複数選択可≫

	一貫した（乳幼児から就労支援まで）センター	発達支援センター	学習支援センター	就労支援センター	その他
合計	117	580	94	526	137
%	(12.9)	(64)	(10.4)	(58.1)	(15.1)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	10	42	12	39	9
%	(14.9)	(62.7)	(17.9)	(58.2)	(13.4)
聴覚障害	11	50	7	37	27
%	(12.9)	(58.8)	(8.2)	(43.5)	(31.8)
肢体不自由	36	187	24	136	42
%	(13.7)	(71.4)	(9.2)	(51.9)	(16)
知的障害	74	414	65	422	83
%	(11.5)	(64.5)	(10.1)	(65.7)	(12.9)
病弱	17	77	6	50	19
%	(15.9)	(72)	(5.6)	(46.7)	(17.8)
合計	148	770	114	684	180
%	(7.8)	(40.6)	(6.0)	(36.1)	(9.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

(文京区)教育支援センター／・地域にセンター等がない。／Q105 の設問について、本県には特別支援教育センターは存在しません。／ここでいう特別支援教育センターとは?／こころの医療センター／サブセンター（市内の小中学校）、市教委／愛知県総合教育センター／愛知県総合教育センター相談室／医療センター／開校 2 年目でありこれからである。／各市の教育センター／学校教育相談センター／基幹相談支援センター／教育センター（就学関係で連携）／教育センター、基幹相談支援センター／教育委員会　福祉・保健部局／教育委員会、教育センター、教育事務所／教育研修センター／教育事務所／教育事務所、県総合教育センター、こども支援センター／教育相談センター／教育庁出先機関／釧路市障害基幹相談支援センター／県の特別支援教育センター／県教育センター／県教育センター特別支援教育支援室／県総合教育センター，県特別支援教育室／県特別支援教育センター／県立総合教育センター／県療育センター／行政機関／高次脳機能障害センター／今後の課題／札幌市教育センター、北海道特別支援教育センター／子ども支援センター／子ども総合療育センター，総合教育センター／子育て支援センター／市の教育センター（教育相談部門）／市の教育相談センター／市教委（福岡市発達教育センター）／市教委特別支援教育室／市教育センター、県リハビリテーションセンター／市教育委員会教育相

談センター／市町村教育委員会／市町村教育研究所，県立総合教育センター／市町村特別支援センター／市立教育センター／児童相談所／児童発達支援センター(民間）／児童福祉センター／鹿嶋市教育センター／就学支援、子ども家庭支援センター／就学前支援センター／就学前療育施設／障がい者就業・生活支援センター／障がい者相談支援センター／障害者支援相談センターー／障害者就業・生活支援センター／障害者地域支援センター／心身障害福祉センター／川崎市総合教育センター／相談支援センター／相談支援事業所／総合教育センター／大学に併設されているセンター／大学の特別支援教育臨床実践センター／大学病院，保健センター／大阪市の当該機関／大分県教育センター／大分市教育センター／地域のコーディネーター連絡会／地域の自立支援協議会／地域の小中サブセンター、通級指導教室／地域医療センター／地域支援センター／地域包括支援センター／地域療育センター／地域療育等相談支援センター／聴覚言語センター／聴覚障害支援センター／鳥取県教育委員会事務局西部教育局／適応指導教室／島根県教育センター、発達障害支援センター／道立特別支援教育センター／特にない／特別支援教育サポートセンター／特別支援教育センター／特別支援教育センター（就学先相談）／特別支援教育センターは設置されていない／特別支援教育相談センター／難聴児支援センター／乳幼児小・中までの療育相談センター／発達障がい者総合支援センター，県立総合教育センター／発達障がい者総合支援センター，乳児院，総合療育センター／病院／病院（眼科）／病院のｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰが対応／福井県特別支援教育センター／福井県特別支援教育センター（就学・教育相談（保育園～高校)、研修、調査研究等の業務を担っている）／福祉センター／福島県特別支援教育センター／保健センター，ポーテージ協会／保健所・保健センター／保健福祉事務所／豊田市青少年相談センター／北海道立特別支援教育センター／本校に設置／養護教育センター／療育、研修、教育相談等の総合的な特別支援教育センター／療育センター　総合教育センター／療育支援センター／連携していない

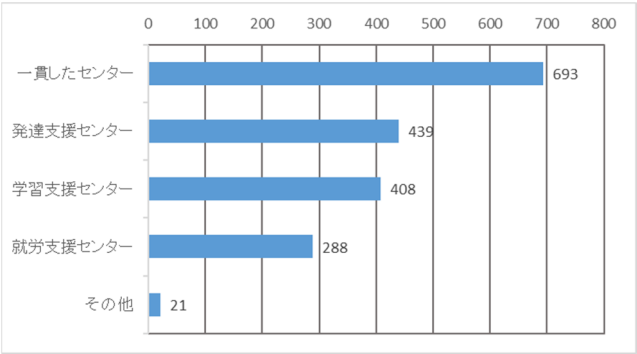
【107】特別支援教育センターとして設置を希望するものをお答えください。≪複数選択可≫

	一貫した（乳幼児から就労支援まで）センター	発達支援センター	学習支援センター	就労支援センター	その他
合計	532	351	316	224	17
%	(58.3)	(38.5)	(34.6)	(24.6)	(1.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	48	23	23	17	2
%	(71.6)	(34.3)	(34.3)	(25.4)	(3)
聴覚障害	59	37	30	24	0
%	(68.6)	(43)	(34.9)	(27.9)	(0)
肢体不自由	156	89	95	61	7
%	(60)	(34.2)	(36.5)	(23.5)	(2.7)
知的障害	370	246	217	160	10
%	(58.1)	(38.6)	(34.1)	(25.1)	(1.6)
病弱	60	44	43	26	2
%	(54.5)	(40)	(39.1)	(23.6)	(1.8)
合計	693	439	408	288	21
%	(37.5)	(23.7)	(22.1)	(15.6)	(1.1)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

15 歳以上に相談対象を広げること。／カウンセリングができる機関／ここでいう特別支援教育センターとは?／すでに併設済み／なし／医療的ケアの相談に対応できるセンター／家庭生活支援センター／該当しない／学齢期の重症心身障害児支援センター／既に設置されている。／視覚支援センター／視覚障害に関する支援センター／地域の放課後デイサービスとの支援者交流会に参加している。夏季休業中にイベントを手伝う。／地域療育センター／適応指導教室／特別支援教育センター

【108】地域の自治会、青少年委員会、保護司会、体育協会等との連携がありましたら、その状況についてお答えください。

具体的に

"「開かれた学校づくり推進委員会」に委員として参加してもらっている／「地域との交流会」での学校行事に地域の自治会が参加してくださり、催し物等を実施／○　地域の代表の方から学校評議員に加わってもらっている。
○　大形地区コミュニティ協議会や民生委員の方々から年間を通して様々なボランティアに来ていただいている。／・学校公開日を設け、地域自治会員が来校・文化祭にボランティアとして参加／・区長協議会に行事案内・区長協議会長を学校評議員に委嘱／・区長協議会長を学校評議員に委嘱・避難場所開設に関する連絡会開催／・自治会及び婦人会、近隣企業との合同地域清掃　・公民館活動への参加協力／・自治会総会の施設開放。
・スポーツ大会のグラウンド開放。／・自治会長には学校運営協議会の委員をお願いしてある。・市の生徒指導連盟に加入している。／・自治会等と協力して，地域での各種活動を実施している。／・障害者スポーツをとおした交流を実施していて，地域のボッチャ協会と連携している。
・婦人会，青年会議所，社会福祉協議会との花いっぱい運動を実施している。／･生徒会活動で地域の自治会の清掃活動に参加。・地域の防災訓練に参加／・地域の学校と警察との連携協議会・市内の福祉関係・行政との連携協議会／・地域の自治会と連携した「畑の先生」等の連携・保護司会の学校参観・理解啓発／・地域の自治会の定例会へ出席・府中市の体育協会と協力して、スポーツのアンケート実施／・地域自治会の代表者を学校評議員として指名している。・地域自治会の作品展に生徒の作品を出品している。／・地区の自治会連合会と防災に関する意見交換会が昨年度まで年１回あったが、今年度はない。／・地区の青少年育成協議会に管理職が参加、学校便り等の配布、教護教会との連携／・地区まちづくり委員会メンバーとして、文化・教育分科会担当。・地域育成会と協同した近隣河川の清掃。
／・福祉財団による音楽会の実施・ライオンズクラブによるケーキ作り・菓子組合による餅つき／・約６回　スポーツクラブとの連携により高等部生徒のスポーツ支援及び本校職員の協力／①管理職が自治会の理事・評議員となっている。②地域のコミュニティセンターに清掃ボランティアに行っている。③青少年委員会主催の「いじめ防止標語コンクール」等に協力　等／１団体として、体育協会が主催する競技会に生徒が参加している。／①防災訓練②自治体が主催する発達障害の研修会への参加③本校の行事への参加、参観／2 か月に一度、地域で情報交換会があり、学校長が出席している／ＣＳの取組における自治会との連携／ＣＳ関係での自治会連携、／ＮＰＯ法人サッカー連盟、障害者スポーツ協会、障害者福祉課等の障害者スポーツの会場として連携／ＰＴＡの代表が地域の自治会、青少年委員会等の会合に参加して、学校としての意見を述べたり、地域活動に参加したりしている／PTA 主催の夏祭りに地域の自治会が協力して出店している。体育の授業にグラウンドゴルフ協会や太極拳協会よりゲストティーチャーを派遣してもらっている。／うら谷津の会（地区の地域貢献活動団体）／お祭り等のイベントに作品出品
,学校だより等情報の公開／グラウンドゴルフ　ユニカール　地域散策／コミュニティセンター事業への参加やボランティア活動の実施／シニア大学との連携,消防団との協力／ちちぶふれあいピック（スポーツ大会)、スポーツ体験交流会／トップアスリート交流を行っている。／ネットワーク会議に参加し、

地域の機関として他の機関との関係作りに努めている。／マッサージ体験会,総合防災訓練／もちつき会夏祭り　総合防災訓練等／ロードレース大会の参加／依頼を受け、地域の自治会の文化展に子どもの作品を展示している。／運動会（小学部）　行事への招待／運動会を地域の体育協会の協力を得て実施している。／岡崎社会福祉協議主催の「ふれあいサロン（地域交流）」を本校で実施，その際の喫茶サービスを行っている／夏まつり・学校公開への地域の自治会の参加、主任児童委員との副籍交流における連携／夏祭り等に参加／花壇整備等への参加／会としての連携はないが、生徒個人や１スポーツ団体との連携はある／回覧等に掲載する。／回覧板の活用　スポーツ大会への参加／開かれた学校づくり委員として、委嘱し、会議に参加して意見をもらっている。／各種関係者が集まる、生徒指導を中心とした子どもを支える会議が年１回開催されています。／学区の町内会との花植活動・ＪＲＣ活動の実施／学区の防災訓練を実施／学校が設置されている地域の自治会長を学校評議員として、学校の経営等について情報提供や自治会会員への行事等の案内をし、理解啓発や情報共有を行っている／学校が立地する地域の自治会通じて，学校紹介文書の回覧を依頼するため，自治会会議に参加。／学校サポーター会議,ボランティア講座の実施／学校だより・学校行事などの案内の回覧や参加の依頼／学校だよりの配布、地域行事への参加／学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会に参加いただいている。／学校運営協議会にて地域の自治会と連携を図っている。／学校運営協議会のメンバーに所属／学校運営連絡協議会や防災時の避難の受け入れ等／学校外で問題行動がみられる生徒に関して、必要に応じて関係機関等と連絡を取り合い、情報を共有している。／学校関係者評価委員として意見を聞く。／学校協議会委員の依頼、地域中学校区ＰＴＡ連絡協議会、行事の案内／学校協議会委員の委託／学校教育推進会議に自治会長や警察のスクールサポーターに加わっていただいている。自治会の秋祭りや地域のスーパーマーケットで生徒の作った製品を販売する／学校近隣の自治会に、学校行事の案内を配布／学校警察連絡協議会／学校見学会の実施、学校だよりの回覧、諸会議への参加／学校公開で来校してもらったり、自治会の研修で学校説明を行ったりしている。／学校行事、ＰＴＡ活動に地域の方々が参加。学校広報誌の自治会回覧。／学校行事・作業学習製品販売等を通して、地域住民との連携を図っている／学校行事でのボランティア活動、防災訓練への参加／学校行事に自治会の方に参加していただいたり、自治会の行事に本校生徒が参加したりしている。／学校行事に招き、障害の理解啓発を行っている。／学校行事の案内（地域の自治会）／学校行事の見学。地域行事への参加／学校行事の際にボランティアとして参加していただいている／学校行事への近隣の自治会の参加／学校行事への参加／学校行事への参加（交流）,行事の際の駐車場係等スタッフ／学校行事への参加・地域の会議への出席／学校行事への参加依頼（広報チラシ等の配布）／学校行事への地域の自治会代表の参加／学校行事や防災活動に招く、など／学校行事等での連携／学校行事等の協力・参加合同防災訓練地域の市場への作成品の出品／学校行事等の際、町内会長に案内状送っており、来賓として出席することもある。／学校行事等への支援要請等を通して理解啓発の機会としている。／学校行事等を通して、地域住民と連携を密にしている／学校祭等でのボランティア協力／学校周辺の公園花壇の整備／学校所在地自治会については、地域の祭りにおいて、毎年寄宿舎生徒による太鼓演奏。学校だよりや学校行事等への参観案内を配布。／学校新設に伴う理解啓発／学校評議委員／学校評議委員,地域における販売活動,地域の清掃活動／学校評議員として青年会議所等を委任／学校評議員に区の議長になっていただいている。また、地区に学校行事の案内を差し上げている。／学校評議員に地域の総代を指名／学校評議員を地域の自治会関係者に依頼。学校行事を地域の自治会（回覧）で広報。／学校評議員会／学校評議員会への参画や児童生徒の登下校安全に係る見守りなど／学校便りや各種案内状の配付，今年度地元の青少年委員会の方々が学校の視察に来られ

た。／学校連絡会を中学校区で年１回実施され、その会に管理職・生徒指導担当が参加／学習活動や学校行事への参加／学習発表会やオープンスクールで学校公開。地域協議会に出席。／寄宿舎の避難訓練で地域の自治会に協力依頼をしている。／寄宿舎の避難訓練を自治会長や組長に見ていただき、いざというときの協力をお願いしている。／寄宿舎避難訓練に地区の方に参加していただいている。地域の民生児童委員が学校見学に来校／教育活動への協力／教護連盟／教頭が自治会の協議に参加。学校の状況などについて報告。学校の行事の案内をしたり、自治会が運営している行事に参加したりしている。／教頭が窓口で、学校近隣の自治会の区長等と連携。／近隣の自治会の方との交流を実施している。
自治会代表の方に学校評議員及び教育振興会役員になってもらっている。／近隣の自治会会長には本校防災委員会の委員を委嘱している。／近隣施設と定期的な会の設定（災害時の対応について）／近隣自治会と合同で避難訓練を実施した。／近隣町内会との合同清掃活動／近隣町内会や地域の小中高との連絡会／区、地域町内会との防災協定を結んでいる。／区設置地域自立支援協議会地域民生委員研修会等／区長、民生委員との連携／区長が学校評議員になっている。学校と家庭・地域の連携に関わる協議会に参加／君津市北子安地区自治会／警察　／月１回の社会福祉協議会で情報共有及び地域の行事に参加。戸坂学区民政委員・児童委員による見学及び視覚障害者理解／月に１回、地域の自治会、幼稚園、学校、駐在所、施設等から代表者が集まり、会議を行い情報交換等をしている。／健全育成に関する定期的な会議／研修会における講師としての活動／研修会の受け入れ／県障害者スポーツ協会より協会主催のバスケットボール大会の案内／見学を受け入れています。／見学を受け入れているが、特に連携はしていない。／現役保護司が学校協議会委員／個別の事案についての相談はあるが、普段の連携という面では特に行われていない。／後援会のメンバーに自治会が入っている／後援会組織があり、地域の自治会の方がメンバーになっている。／公民館、祭などの行事への参加、研修、学校見学／公民館での作品展示等／公民館とクリスマス会を共催している／公民館や老人施設での喫茶やビルクリーニング等のデリバリーサービス　　地区老人会との交流／効果的な連携のあり方を模索中／校長が地域の青少年対策班の班員となっている。／校長や教員が地域の自治会に参加して情報共有している。／校内ケース会議の内容によっては，地区の民生委員にも協力いただいている。／校内の防災訓練に地域の自治会が入る。地域の防災訓練に生徒や職員が入る。／江東区自立支援会議／港区港南地区防災ネットワーク　東京都障害者スポーツ協会／行っていない／行事ごとの協力　クラブ活動／行事の共催や学習への支援／行事への招待、学校評議員の委嘱／行事等の案内を自治会に配布学校評議員を自治会より１名選出／行事等の公開（自治会)、障害者スポーツ（体育協会）／行事等への参加、参観／高等部生徒の作業学習物品への協力／高等部生徒の登下校の見守り、防災対策、街づくり会議への参加／合同の防災教育学校行事への参加／合同避難訓練／今後の課題／祭や地域の会合に本校も参加している。／在学青少年指導員と連携し情報交換を実施／在学青少年指導員や民生児童委員協議会と情報交換等を行い、児童生徒の家庭支援等を行っている／作業班が、地域の団地や商店街に掃除に出かけることから、連携を図っている。／鮫地区青少年生活指導協議会／山梨県スキー連盟／子ども部会、社会福祉協議会、青少年保護育成の会（若草会）／子育て支援連絡会で地域の自治会長などが参加している。／市青少年育成会議／市町の自立支援協議会等に参加している。／市内福祉機関主催のイベントに参加し、学校紹介と教育相談等を実施した。／視覚障害者団体に対する体育行事・防災行事の共同開催及び体育館開放／資源回収の協力を依頼／児童生徒だけでなく地域の住民が参加した防災訓練を実施した。／自治会／自治会　学校行事等で協力を依頼する／自治会　警察　高体連　高文連障害者スポーツ／自治会（自治会役員を本校の外部委員会等のメンバーに選任している。地域行事への本校児童生徒の参加や学校周辺環境の整備等

に協力していただいている）／自治会、青少年委員会／自治会、青少年委員会等と協力して、交流や防災の取組にあたる／自治会、青少年育成会、社会福祉協議会との連携／自治会、保護司会、体育協会等と必要に応じて連携をとっている。／自治会、保護司会、民生委員、家庭相談員（福祉部局）など／自治会、保護司会等の学校見学を受け入れ、特別支援学校理解を進める一助としてもらっている。／自治会：地域の作品展への作品展示、本校の防災訓練への参加／自治会・公民館サークル活動の交流・公民館文化祭への参加／自治会から学校評議員を選出している。保護司会の研修を本校で開催した。／自治会で行う行事への参加、学校行事への備品提供／自治会との交流や清掃活動／自治会との防災訓練棟合同実施、ミニ集会の地域自治会代表参加、体育協会やセンターとの研修･行事のための用具の貸し出しと借り入れ、地域サークルへの体育施設開放／自治会とは，開かれた学校作り委員会の委員として，また，職員が自治会行事に参加している／自治会とは、清掃活動や防災訓練などの連携のほか、通学支援や学校行事、学習支援等のボランティアとしても協力していただいている。／自治会とは学校として連携があり、地域の民生委員や保健士とは児童・生徒の家庭支援で連携／自治会とは教育コミュニティを通じての連携がある／自治会とは行事等での参加のしあいを行っている／自治会と授業参観・学校行事等で連携。／自治会と防災の面で連携している。／自治会と連携し、地域に学校を知ってもらうよう活動／自治会と連携し、地域の夏祭りの運営に職員が参加したり、地域の文化祭に高等部生徒が参加したりしている。／自治会について、学校からの情報発信を行っている。／自治会に学校評議員を依頼している。／自治会の会合に、定期的に参加している／自治会の行事（田植え、稲刈り）に参加／自治会の行事に参加したり、学校だよりを自治会で回覧してもらい啓発している。／自治会の方に学校行事に参加したいただいている。／自治会の方を学校行事に招いたり生徒が出向いたりしている。／自治会への回覧板の協力や社会福祉協議会の取り組みへの協賛等／自治会への学校見学等の案内,懇談会の実施／自治会への学校便りの配布、行事等のお知らせ、民生委員や児童委員への研修実施。／自治会や市民センターの長が学校評議員として参加している。
学校・家庭・地域が連携するネットワーク会議に参加している。／自治会や体育協会と連携／自治会や福祉施設と定期的に話し合いを行っている。／自治会や老人会への学校施設の貸し出し、夏祭りの招待、学校評議員の委嘱。体育協会からのニュースポーツの講師派遣依頼。／自治会を交えた防災連絡会の実施／自治会を中心とした学校応援団を組織／自治会関係者に学校評議員になっていただいている。／自治会長が学校評議員であり、学校運営に意見や助言をもらっている。自治会の文化祭に作品展示で参加している。公民館で、本校の美術部の作品展を実施している。／自治会長さんに学校評議員として、関わっていただいたり、広報誌の配付をお願いしている。／自治会長さんに学校評議員をお願いしている。老人会とはあんま交流。／自治会長に学校運営協議会委員になってもらっている。／自治会長に学校評議員として会議に参加して頂き意見を頂戴する。／自治会長に学校評議員をお願いし、学校の評価をしてもらっている。また、地域の交流会に参加している。／自治会長は学校評議員である。作業製品の販売会の案内を回覧板にて配布している。／自治会防災員と合同の防災訓練・研修会を実施／自治会役員に学校評議員をお願いしている。／自治振興会の役員を学校評議員に任命、障害者スポーツ協会の行事に参加／自治体と合同で奉仕活動を実施／自治連合会や社会福祉協議会と地域協働活動を行っている／自立支援協議会への参加／鹿角警察署、民生児童委員、花輪ふくし会など／社会福祉協議会／社会福祉協議会、民生委員、地域防災組織、地域ボランティア／社会福祉協議会が行事の際ボランティアとして活動／社会福祉協議会主催の研修会への参画、本校駐車場において町内会の天体観測会の実施、PTA 主催のフェスティバル等への地域住民の参加／社会福祉協議会主催の高校生福祉体験での、①

手話講習会への講師派遣②フロアーホッケー体験会での職員派遣と会場提供／主任児童委員の直接交流先への同行依頼、学校行事／種足地区自治会、青少年育成会等との連携／授業や学校行事でのボランティア活動／授業公開　研修会　PTA 行事／商工会、青年会議所、食育団体、ボランティア団体など、多種多岐にわたって連携を推進している。／小平市地区連絡協議会を本校で開催。小平市の小・中学校、民生委員の方、子ども家庭支援センターの方など育成の関係機関の方々が来校する。／少年センター、地域の方の通学指導の見守り、地域障害児スポーツクラブへの施設貸出／障がい者スポーツ協会が主催するスポーツ大会の参加及び運営協力／障がい者スポーツ協会と障害者スポーツについての連携／障がい者スポーツ大会への参加／障がい者自立支援協議会、社会福祉協議会／障害者スポーツ協会との連携があり、軽スポーツへの紹介や啓発、競技参加等を行っている。／障碍者スポーツの普及のための連携を行っている／新潟県障害者スポーツ協会／人権擁護委員会、児童・民生委員会、警察署、地域の商店会等／清掃活動、バザー、まつりの参加／生活指導について,地域の方々と連携している。／生徒指導での連携（青少年育成市民会議など）／生徒指導について、警察との連携がある。／生徒指導の会で保護司や青少年委員会と情報交換をしている。／生徒指導係と警察との情報交換会を月に一回実施／青少年委員会や地域のこども交流行事へ障害児との関わり方指導方法など出前授業　他／青少年育成委員会で本校の農産物を活用したイベント／青少年育成委員会等への参加協力／青少年育成学区民会議、自治会、民生児童委員／青少年育成地区委員会と連携し、地域の活動への参加や理解啓発、情報提供を行っている。／専攻科の校外臨床への協力管理職は各会に参加している／専門教科等での活動
,地域ボランティアでのつながり／相談支援センターとしてはない／体育協会、社会福祉協議会、町内会／体育協会から、スキー授業のボランティア参加を得ている／体育協会によるニュースポーツの指導等／知記事自治会、地区民生委員／地域コミュニティセンター発行の会報に学校情報を掲載／地域コミュニティとの連携／地域コミュニティ運営協議会との連携と地域行事への参加／地域だよりの配付、各行事の案内、登下校の見守り／地域での交流に参加／地域と合同防災学習を実施／地域に、学校・自治会・警察等の連携した組織があり、年に数回情報交換をしている。／地域におけるあったかスクラムの行事を、本人保護者等に紹介して参加してもらっている。／地域ネットワーク連絡会議構成員として連携している。／地域のイベント等への参加／地域のスポーツに関するＮＰＯ法人と連携を図っている。／地域のスポーツ推進審議会に参加している。／地域のペタンク協会／地域のボランティア団体との年２回の交流，管理職による市の青少年健全育成協議会への参加／地域のロータリークラブ、ライオンズクラブと地域交流駅伝大会、餅つき大会を実施している。／地域の育成会、交通安全協会、社会福祉協議会の会合に出席している。夏季休業中は、地域のパトロールを行っている。／地域の横須賀市岩戸町内会との交流／地域の夏まつりに参加している／地域の夏祭り（本校会場)、学校後援会会員／地域の区長を CS 委員として参加してもらう。／地域の警察のスクールサポーターさんと情報を共有しています。／地域の警察や法務少年支援センター等と連携して生活指導を行っている。／地域の警察組織に参加している。／地域の交通安全協会による通学路の点検／地域の交流イベントで自治会と連携。愛育委員が本校作業学習を支援。民生委員，児童委員はボランティアで活躍中。／地域の公民館／地域の公民館、ライオンズクラブ／地域の公民館、民生委員、青年団等への研修の協力／地域の公民館・体育館への清掃・訪問、作業製品の販売／地域の公民館のボランティアによる環境整備／地域の公民館等が交流の場を提供してくれる／地域の行事への参加／地域の行事等で連携している。／地域の祭りに学校として参加、もちつきで老人会消防本部青年部と交流梨生産者、JA との交流／地域の祭りに参加・地域と連携した避難訓練／地域の祭り参加に係る指導練習、特支教育に係る学校視察、教育環境充実のための

寄贈／地域の子ども会育成会との定期的会合による情報共有、町会を活用した情報発信への協力、／地域の市民センターと作品展交流を行っている。／地域の施設、自治体と秋祭りを実施、防災訓練の協力等／地域の施設を活用しての水泳教室や地域調査をサポートしてもらい実施／地域の自治会／地域の自治会 自主防災組織、生徒指導連絡協議会　／地域の自治会，町福祉協議会／地域の自治会、ボランティア団体、／地域の自治会、ロータリークラブ、地域の老人会、ライオンズクラブ、商工会、保護司会その他／地域の自治会、女性会との交流活動を行っている。／地域の自治会、長寿会／地域の自治会、老人会との交流／地域の自治会。評議員をやっていただいたり、回覧や広報版を通じて教育活動を広報したりし、理解と協力を得ている。／地域の自治会：防災対策（相互避難訓練への参加、避難所指定)、清掃や花壇整備等／地域の自治会が，校地の清掃活動を実施している。／地域の自治会が、学校だよりの回覧を受け入れてくれている。／地域の自治会から、敷地内の草刈りで協力をいただいている。／地域の自治会から学校評議員を出してもらっている。校外補導への参加。／地域の自治会から放射線測定の情報提供を受けている／地域の自治会が行う夏祭りや文化祭に、作業製品や作品を出品／地域の自治会との交流／地域の自治会との交流活動／地域の自治会との職業教育推進／地域の自治会との防災関係の連携／地域の自治会との連携／地域の自治会とは、開かれた学校づくり委員会に委員として委嘱している。教育ミニ集会等にも参加を呼び掛けている。／地域の自治会とは、防災に関する合同連絡会を開いたり、作業製品の展示に協力していただいたりしている。／地域の自治会とは地域交流をとおして連携している。／地域の自治会とは必要に応じて連携／地域の自治会とは防災について連携の取り組みを始めた。／地域の自治会と学校行事、ボランティア活動を通して交流及び連携を図っている。／地域の自治会と交流があり、各種行事にも参加している。／地域の自治会と交流会を設けている／地域の自治会と総合防災学習を年１回実施している。／地域の自治会と連携した「ふれあい祭り」／地域の自治会と連携して、役員会に出席して学校行事の紹介をしたり、合同で地域防災研修を実施している。／地域の自治会と連携している／地域の自治会には、学校評議員として、学校運営の一部に助言をいただいている。／地域の自治会には、行事のお知らせの配布や学校評価等の依頼をしている。また、保護司の方とは連携して生徒支援を行っている。／地域の自治会には、入学式、卒業式、運動会、文化祭の案内を送付し参列していただいている。／地域の自治会による防災会議に参加／地域の自治会に運動会や学習発表会の招待状を出している。また、自治会副会長に、学校評議員を受けてもらっている。／地域の自治会に夏祭りや餅つき大会等、保護司会は学校見学、体育協会は陸上・水泳・フロアバレーの役員派遣で連携している。／地域の自治会に学校協議会委員を依頼　地域清掃や学校行事等に参加／地域の自治会に学校行事に招待している。／地域の自治会に学校行事の案内を回覧してもらっている。／地域の自治会に毎回学校だよりを配布している。地域の夏祭りや餅つき会に本校の物品を貸し出している。／地域の自治会の一員として、定期的に会合に参加している。／地域の自治会の皆様の学校行事や避難訓練等への協力／地域の自治会の祭、催し物に参加／地域の自治会の方との交流,コミュニティ会議への参加／地域の自治会の防災訓練に参加。／地域の自治会は、運動会等に開校から招待している／地域の自治会や小中、高等学校において定期的に生徒指導に関わる連携会議を実施し、様々な情報を共有している。／地域の自治会や青年会等の団体と連携がある。／地域の自治会や団体の代表の方に学校評議員になってもらっている／地域の自治会館の清掃／地域の自治会行事に参加する。体育施設の借用等。／地域の自治会長に学校評議員を依頼している。／地域の自治会長に学校評議員を務めていただいている。／地域の自治会長を学校評議員として委嘱。また、学校周辺のクリーンアップ作戦を地域住民に呼びかけ実施。／地域の自治会長を学校評議員にお願いし連携を図っている。また民

生委員には定期的に学校見学を行っていただいている。／地域の自治会等と交流／地域の自治会等に学校行事の案内を出し、本校への理解を促している。地域のボランティア団体による学校行事への協力や地域の施設での児童生徒作品展開催等も行っている。／地域の自治会役員が学校評議員になっている。各種地域行事に積極的に参加している。／地域の自治協議会例会及び防災連絡会に校長が出席し、情報交換を行っている。／地域の自治体とは、定期的な連絡会で情報交換／地域の自治体の方が書道の指導をしていただいている。／地域の自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成団体等／地域の社会福祉協議会がコーディネートしてボランティアサークルの方々に通学路見守り隊をお願いしている／地域の社会福祉協議会の代議員に学校も入っているので、自治会、保護司、青少年育成推進委員などと連携が取れるようになっている／地域の商店街と連携し、作業製品の販売を委託している。／地域の小学校区コミュニティ協議会に参加し，地域の行事に参加している。／地域の小学校区の交通安全・家庭教育推進協議会に参加している。／地域の人権推進委員会、学警連、中体連／地域の青少年育成委員会が地域行事でつくった七夕飾りを一定期間飾ってくれている。／地域の総代さんによる児童生徒の登校時における見守り活動／地域の町内会／地域の町内会と中学部生徒との交流が続いている。／地域の町内会区長を通じて、学校機関誌を各家庭に配布している。／地域の町内会長、副会長が学校協力者会議の委員になっている。市域の多数の民生委員・児童委員が学校見学に来ている。／地域の町内会長が学校運営連絡協議会委員である。また日常的にサポートをしていただいている。／地域の町内会連合会との双方向の連携協力／地域の聴覚障害児童生徒との交流会の主催、障害種の協会や親の会等との連携他、地域の参観依頼の受入や学校評議員（自治会や公民館長等）を中心に地域連携も積極的に行っている。また、地域のライオンズクラブとの交流等は特色のある取組かと思われる。／地域の文化祭に協力・参加、作品展に応募、お祭りに参加、スポーツ吹き矢大会に会場を使用許可／地域の文化祭に作品展示、バレーボール、駅伝競走大会参加／地域の文化祭やバザーに参加したり、学校便りを配布したりしている。／地域の保健師や民生委員と連携して、支援を行っているケースがある。／地域の保護司会と連携し、本校での研修会開催や保護司研修会への講師派遣を行っている。／地域の方が防災訓練に参加／地域の方々との地域交流（本校会場に全学年で）地域の集会所の清掃（年 2 回）／地域の民政委員児童委員の方を学校評議員に任命。また、自治会から学校行事等でボランティアを出していただいている。／地域の民生児童委員／地域の民生児童委員の学校訪問・視察／地域の老人を招聘した中学部の餅つき大会。社会福祉協議会からの小学部の校外学習等へのボランティア派遣。／地域の老人会／地域の老人会から学校行事への参加協力／地域の老人会との交流、市民館の清掃活動／地域の老人会や婦人会と交流学習を行っている／地域ふれあいまちづくり協議会との交流(参加・招待含めて）,学校評議員に 1 名選出／地域学区の連絡協議会と、互いの行事への参加や協力を通して連携をしている。／地域学習として、地域の行事への参加や地域にある事業所を活用するなど、地域とかかわり、地域を活用して様々な学習を展開している。他にスポーツ大会、老人クラブとのクリーンアップなどがある。／地域活動協議会と連携し地域活動への参加／地域環境整備／地域教育会議に参加し、町内会長、青少年指導員、スポーツ推進委員と、また市の事業により文化財団、体育協会と連携を図っている。／地域警察署との連絡会議の開催／地域交流や生活支援の場で連携がある。／地域公民館との連携／地域行事、学校行事にお互いに参加／地域行事「松明あかし」参加に係る連携／地域行事への参加／地域子育て支援組織を応援／地域支援ボランティアと連携している／地域自治会、保護司会、民生委員会／地域自治会とのボランティア活動、地域からのボランティア活動の受入／地域自治会との運動会、文化祭への協力／地域自治会との交流,障がい者体育協会との連携／地域自治会と地域交流を行っている。／地域

自治会にイベントなどお知らせに定期総会に出席している。／地域自治会に学校通信の回覧を依頼／地域自治会の交流会へ参加している／地域自治会の防災会議への参加と合同防災訓練を実施，市町村主催の支援連絡会議への参加／地域自治会主催の行事や打ち合わせ会議への参加　自治会町内会の方が学校行事への協力／地域自治会長へ学校評価懇話会委員を依頼。／地域自治会長を学校評価委員会のメンバーにしている。／地域自治体とは学校行事等の広報活動を依頼／地域住民を含んだ避難訓練の実施,地区青少年連絡協議会への参加／地域清掃活動や地域の文化祭、人権フォーラム等に参加している／地域防災での連携
,地域自治会合同フェスティバル／地域防災について地域の自治会と連携している／地域防災訓練の会議に参加／地域連携を深め、自治会長を学校評議委員に任命し、校内行事に地域の多くの方に参加いただいている。／地区にある障害者基幹センターと連携があります。／地区の安全連絡会、地区の防犯パトロール等／地区の自治会長が学校評議員として教育活動を支援／地区の民生・児童委員協議会の協力を得て「ふれあいぜんざい会」を実施している。／地区敬老会、地域環境整備、地域での生産物販売、学校公開を通じて、地域との連携を図っている。／地区公民館にて視覚障害に関する映画祭の上映。地域の文化祭でマッサージによる啓蒙活動。／地区公民館文化祭に作業製品を出品／地区自治会、地区老人会、地区赤十字奉仕団／地区自治会・町内会、青少年委員会、子ども会、婦人会　等／地区自治会との連携(親睦会)
,地域の民生委員との連携（主に情報提供者として合同の研修会へ参加）／地区文化祭での児童生徒作品展示／地区連合自治会長に学校評議員を委嘱。各自治会から地域文化行事に関して指導してもらう。地域の祭りへの招待がある。市の補導委員会と連携。／地元の自治会及び婦人会と交流活動を行っている。／地元区の協力を得て、地域交流イベントの広報活動を行ったり、公民館清掃や区民まつりに美術部の作品を展示している。／地元自治会、警察／地元自治会との連携（清掃活動など）／地元自治会との連携による交流活動の実施。／地元自治会と連携した避難訓練／地元自治会長に、「地域交流活動運営委員会」への参加を、地区体育振興会長に「学校体育施設開放運営委員会」への参加をそれぞれ依頼している。／竹田南部校区青少年健全育成協議会や玉来・松本自治会／中学部の生徒と地域の自治会の方が年に１回交流行事を実施する。学校行事を案内する。／中川福祉村の一員として日常的に連携している／中体連加盟しており、各種大会へ参加している／町の地域おこし協力隊と連携し、就労体験学習の実施や町内での作品展示などを行っている。／町内会／町内会、地域の施設等との職員の交流の機会がある／町内会との行事等の連携／町内会との合同の避難訓練の実施／町内会との清掃活動や納涼花火大会への案内／町内会との防災対策／町内会との連携による児童生徒との交流／町内会と合同でボランティア活動を行っている。／町内会と連携した地域清掃活動／町内会の行事等への協力、学校行事への町内会の参加／町内会へのラジオ体操会場提供／町内会長さんに学校評議員をお願いしている。／町内会長に学校評議員を委嘱／町内会長等に学校評議員を依頼している。／通学見守り／定期的な会合への出席、情報交換／定期的な会合参加／定期的な懇談会、学校開放、地域行事への参加／登下校時の見守り／登校時の見守り、防犯防災／東北レベルでの陸上・卓球大会開催との関係で、陸上協会、卓球協会と連携している。／特になし、必要に応じて連携をとる／特に連携していない／特記事項なし／特支教育に係る学校視察、教育環境充実のための教材提供／特支教育に係る学校視察研修／特別な連携はしていない／日常の学習や学校行事において、在校地域の自治会に協力をいただいている。／日常の公園清掃、現場実習協力、地域行事（交流フェスティバル）協力、不登校生徒支援／入学式・卒業式、体育祭や学園祭、学校評議員会への出席、町内運動会に本校有志が参加／猫啼地区／年１回の地域バザーへの

参加／年３回の「学校便り」と文化祭の案内を地域の自治会に配布しており、その中で文化祭等へ参加して頂けるようになってきた。／年度始めの地域役員との懇談会／柏崎地区青少年生活指導協議会／避難訓練・学校公開・地域交流会で、地域の自治会と連携がある。／避難訓練の見学／避難所運営訓練への参加／美化活動　登下校時の見守り／必要に応じて連携をしている／武庫地区地域振興連携推進会議／福祉避難システム打合せ
,自治会視察受入／保護司／保護司の方の学校見学／保護司会（保護観察中の生徒が在籍しているため）／保護司会の研修会講師／保護司会の研修会実施、体協主催の各種大会への出場／放課後等デイサービス連絡会、自立支援協議会／防災に関して、地域町会や中学校区地域防災委員会と情報交換等を実施、災害時対応について協議している。／防災学習においては、地域の防災の会や自治会等と連携して行っている。防火避難訓練では近隣の福祉施設と協力して実施している。／防災関係／防災関係での地域協力／防災訓練／防災訓練、運動会、学校祭等の学校行事に参加、ボランティアでの協力／防災訓練への参加、学校便りの回覧、交流会の実施／本校の PTA 活動や文化祭などの行事の実施に際してライオンズクラブや社会福祉協議会が参加し協力を得ている。／本校の児童生徒や家庭に関わる情報交流／本校取り巻く地域連絡会に管理職が月１回出席して、情報を共有している。／本校担当の青少年員（学校評議員）と連携し、地域行事に参加。保護司もまた学校評議員／毎月１回行われる地域の会議に出席。地域の祭に生徒が参加。／毎月地域の連絡協議会に参加。地域の公民館の文化祭に作品を展示。餅つき交流。／民区長と連携し、在籍する児童生徒に係る支援に地域からの協力をいただいている。／民区長と連携し、在籍する児童生徒に係る支援の地域からの協力をいただいている。／民児協に管理職が参加／民政児童委員等の学校見学受入、地域子育て支援団体への参加等／民生委員，地域自治会との連携／民生委員・児童委員との交流／民生委員が来校し研修会実施／民生委員との交流（お楽しみ会）／民生委員の学校見学／民生委員の研修視察受け入れとボランティア連携／民生委員の障害理解研修。自治会、保護司に学校評議員をお願いしている。／民生委員等の研修会での理解啓発後の学校視察研修を受入／民生児童委員／名張市障害者アグリ雇用推進協議会地縁法人美旗まちづくり協議会／余暇、スポーツ講座等のポスター掲示や案内の配布　教員ボランティア／幼保小連絡会議への参加／要保護児童対策地域協議会において研修を実施／要保護対策地域協議会で対象となる児童生徒について、地域の行政関係者と情報交換している／隣接する児童養護施設職員との連携はある／隣接の公民館をとおして地域と連携／隣接団地自治会との交流（学校評議員、実習、行事の相互参加等）／連携はしていない。／連携はないが視察はある／連携会議にのみ出席している／連携会議にのみ出席している。／老人クラブ、社会福祉協議会／老人会／老人会・婦人会／老人会との交流、体育協会の学校見学
／老人会との交流活動、地域自治会へ行事参加／諫早市地域自立支援協議会運営会議への出席（諫早市障害福祉課主催）"

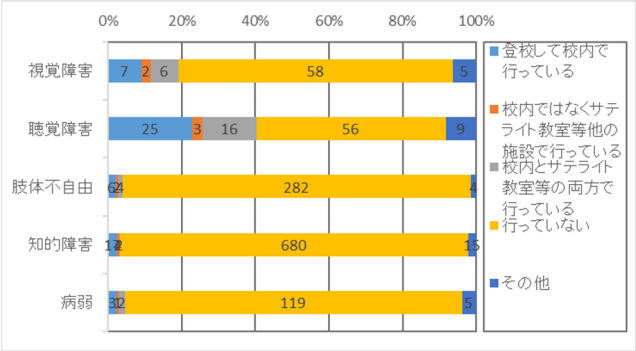
【109】小・中学校の児童生徒が貴校に登校する形で「通級による指導」を受ける取組を行っていますか。≪単一選択≫

	登校して校内で行っている	校内ではなくサテライト教室等他の施設で行っている	校内とサテライト教室等の両方で行っている	行っていない	その他
合計	46	11	27	927	30
%	(4.4)	(1.1)	(2.6)	(89)	(2.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	7	2	6	58	5
%	(9)	(2.6)	(7.7)	(74.4)	(6.4)
聴覚障害	25	3	16	56	9
%	(22.9)	(2.8)	(14.7)	(51.4)	(8.3)
肢体不自由	6	2	4	282	4
%	(2)	(0.7)	(1.3)	(94.6)	(1.3)
知的障害	17	4	2	680	15
%	(2.4)	(0.6)	(0.3)	(94.7)	(2.1)
病弱	3	1	2	119	5
%	(2.3)	(0.8)	(1.5)	(91.5)	(3.8)
合計	58	12	30	1195	38
%	(4.4)	(0.9)	(2.3)	(89.6)	(2.9)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



【視覚障害】

本校、サテライト教室にて実施　／制度はあるが、該当児童生徒がいない／必要に応じて実施もしくは参加している／通級の形態ではないが、月１回など定期的な来校相談を実施／放課後等に定期的に来校してもらい相談支援を行っている。

【聴覚障害】

希望者のみ登校してくる。その他は、教員の巡回指導／行っているが、今年度は希望者がいない。／巡回指導／小・中学校への巡回型の通級を主に、来校とサテライトも行っている。／聴覚障がい教育部門が実施している／通級による指導の体制はあるが、現在在籍者はいない。／特別支援学校支援籍学習／難聴通級指導教室に週１回登校し、月に１回担当者が在籍校へ訪問指導している。／訪問指導

【肢体不自由】

併設学園入所児童生徒対象の学校です。／小学校の支援級在籍児童と保護者が来校し、本校でのＳＴ相談を一度実施。／聴覚障がい教育部門が実施している／在籍している小中学校へ出向いて巡回指導教室として実施／教育相談としては実施している。

【知的障害】
ニーズがあれば取り組んでいる／該当なし／高校のみの分校なので該当外／高等学校の生徒の来校による SST を実施している／高等部のみの設置校のためない／高等部のみの特別支援学校である。／高等部単独校なので非該当／在籍している小中学校へ出向いて巡回指導教室として実施／在籍学校へ職員が出向き行っている／小学校の支援級在籍児童と保護者が来校し、本校でのＳＴ相談を一度実施。／対象の生徒は在籍していません／聴覚障がい教育部門が実施している／通級による指導の体制はあるが、現在在籍者はいない。／難聴通級指導教室に週１回登校し、月に１回担当者が在籍校へ訪問指導している。／本校及び当該児童生徒の在籍する学校で実施している。

【病弱】
制度はあるが、該当児童生徒がいない／隣接病院への入院時には学習委託を行っている。／自宅療養者へのＩＣＴによる遠隔授業／対象の生徒は在籍していません

さいごに
　それぞれの学校で、地域の機関、コーディネーターとの連携が多く行われており、支援の際は比較的どの学校も要請に応じて柔軟な対応をしていることが見て取れた。
　また、連携する先や、希望する施設の多さから、要件に応じて対応を柔軟にせざるを得ないことがわかる。